

4. 現地見学会とまちなみ散策

10月17日と24日に実施しました。対象敷地は約8000㎡という広さで、対応



募者への写真による情報提供では限界があるため、コンペ参加者に現地が集まってもらい、じっくりと踏査してから計画を練って頂きました。同時に、由岐のまちなみ散策もおこないました。案内にあたっては、寺社建築やまちなみ調査に關して経験豊富な建築士会まちなみ研究会会員から、由岐のまちなみの特徴の解説を聴きながらイメージを膨らませたのです。

さらに、大学生のみなさんは「親世帯との近居のすまい」について、実感を持ちにくいことから、町職員の方の具体的な「近居のすまい」を見学させてもらい、体験談を聴くなどしました。

5. 審査会

審査会は、12月21日(月)、午前10時から午後3時まで、由岐公民館2階大会議室において公開でおこなわれ、TV、新聞等で既に報道されているように、次のとおり決定しました。

◎審査員(敬称略)

酒井勝利	西の地防災きずな会会長
新開悦博	造成候補地提供者
影治信良	美波町長
山中英生	徳島大学大学院教授
佐藤幸好	(公社)徳島県建築士会会長

なお、予定していた佐々木隆雄氏(徳島県木材協同組合連合会理事長)は、都合により欠席でした。

◎入賞者：一般・応募登録順(敬称略)

最優秀賞	高瀬善郎、中村正則、鳥山誠司
優秀賞	中山茂
優秀賞	徳島県木の家づくり協会
優秀賞	根岸徳美、釜内晋治、佐藤博、林裕子、島津臣志、島田めぐみ
優秀賞	瀬戸雅之
優秀賞	株式会社スバル設計
優秀賞	岸田徳明

◎入賞者：大学生(敬称略)

優秀賞	徳大エコハウス推進チーム
優秀賞	青木菜摘、上田敦史、平川倫、瀧口裕己、永高祐太



審査の状況

6. 表彰式と入賞者との座談会

表彰式の後、入賞者がそれぞれ3分間程度、設計意図を話してから、地元町民を交えて座談会をおこないました。地元から「実際にできるのかなあ」と思っていたけど、話を聞いて、できるんだと思直した」という感想も。なんとかして実現したいと思います。



座談会の感想を話し合う

おわりに

模型ときれいな図面は一見の価値あり、と思います。ぜひ、ぽっぽマリリン2階ホールへ!!

(公社)徳島県建築士会

副会長 矢部 洋二郎

